

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	学校教育用施設備品整備事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町					
交付金事業実施場所		柿木小学校（吉賀町柿木村柿木）					
交付金事業の概要		<p>遊具は、使用する児童生徒の遊びの創造性を高める一助となり得るがその使用方法と遊具の劣化状況によっては重大な事故につながる可能性もあり、安全点検結果に基づく整備を進める必要があります。しかし、平成29年度実施した、学校遊具安全点検事業において、多数の遊具の劣化判定が「C（最低評価）」という結果になりました。</p> <p>柿木小学校の複合遊具は特に劣化が激しく使用禁止レベルであり、早急に撤去し、新たに遊具を設置する必要があります。</p> <p>また、町内小中学校のプールにおいても、経年劣化によりプール活動を安全に行うことができなくなっており、必要に応じて修繕等の整備が必要です。特に柿木小学校のプールサイドにはコンクリートに亀裂が入っており、安全性を確保するためマットを敷設します。</p> <p>これらにより遊具の安全が確保され、児童・生徒の遊びや学習の環境を充実させることにより、児童・生徒の創造性、主体性の育み、身体的、精神的、社会面の発達を促します。</p> <p>令和2年度の事業内容 複合遊具の撤去、すべり台1基設置 プールサイドマット設置</p>					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		吉賀町教育振興計画（平成28年4月～平成33年3月） 基本理念 「ふるさとでの学びや体験をもとにした、明日の吉賀町支える人材育成」 4. 学習環境の構築における支援体制の整備 1) 学びに適した学習環境の構築 (2) 学校配置及び学校施設整備 具休策：補助金を活用した教材・遊具等の整備					
事業開始年度		令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由							
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	年度	
		H29年度遊具の安全点検において修繕すべき箇所数に対して、修繕を実施した箇所数の割合をH31年度の36.5%から38.5%に引き上げる。	遊具の修繕を実施した箇所数÷H29年度の遊具の安全点検において修繕すべき箇所数	成果実績	%	38.5	
				目標値	%	38.5	
				達成度	%	100	

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	劣化状況を踏まえた整備を実施し、学校環境の改善を図るため、毎年度評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和 年度	令和 年度
	危険遊具の更新台数	活動実績	台	1		
		活動見込	台	1		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費	5,583,600	2,477,200	2,838,000			
交付金充当額	4,000,000	2,477,200	2,200,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,000,000	2,477,200	2,200,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	遊具更新	指名入札	有限会社宗正建設（吉賀町）	1,771,000		
	プールサイドマット設置	指名入札	有限会社宗正建設（吉賀町）	1,067,000		
	計			2,838,000		
交付金事業の担当課室	吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室	吉賀町教育委員会					